

緊急事態宣言の解除後の保育の考え方についてお知らせします

2020年5月25日 子どものその苗間保育園

理事長 高野和久

園長 能登あかね

緊急事態宣言はもうすぐ解除される見通しです。2か月に及ぶ長い間、子どもたちも保護者の皆さんも不自由な生活で大変だったと思います。新型コロナウイルスの感染拡大予防にご協力いただきありがとうございました。

6月1日から子どもの体調などの様子を見ていただきながら、徐々に再開の幅を広げたいと思います。但しすぐに以前の状態に戻るのには難しいと考えています。

この2か月の間、登園自粛という形でお休みのご協力をいただいた方は、5割～8割に及びました。自粛は解除されたけれど、まだ保育園に登園させるのは心配という保護者の方もいらっしゃいます。新型コロナウイルスによる感染が減ったとはいえ終息しているわけではありません。

国や県からはロードマップが発表されるようですが、ふじみ野市役所からは、『緊急事態宣言が解除になっても**7月31日(金)**まではと引き続き登園自粛を要請します』お知らせがきています。

各家庭の事情に合わせて、これからも登園自粛にご協力いただけたらと思います。

完全に新型コロナウイルスが終息していない中で、どのように保育を進めていくのか、子どものその苗間保育園の基本的な考え方をお知らせします。

- 1、 長く家庭で過ごした子どもたちは「早く園に行きたい」気持ちと、お父さんお母さんから離れることへの不安の両方があると思います。その気持ちをしっかり受け止めながらゆっくりと始めていきます。
- 2、 乳幼児は、ひととの密接なかかわりの中で成長していきます。できるだけふだん通りのあそびや生活ができるように大人が工夫しながらのびのび過ごせるようにしたいと思います。
- 3、 3密を防ぐようにと言われていますが、大人同士はできますが、乳幼児には難しいことです。触れ合って遊び、抱っこ、おんぶと肌と肌のふれあいは日常であり、それを止めることはできません。そのため、職員はできるだけマスクを着用し、感染を防ぐように努力します。
- 4、 また、手指の消毒を行いながら、保育室の中で極端な密集密接状態にならないように環境設定に気を配り、換気をまめに行うようにします。
- 5、 各家庭で**毎晩・毎朝体温**を測り、体調の変化にご注意いただくようお願いいたします。各保育室置いてあります記入表に**《昨夜と今朝》**の熱を記入してください。今までも朝の検温についてはご協力頂いていましたが、夜寝る前の検温も忘れずをお願いいたします。
- 6、 手洗いうがいは、大人も子どもも引き続き丁寧に行っていきます。ご家庭でもよろしく願います。
- 7、 6・7月中は行事を最小限にし、職員と送迎の保護者（子ども1名につき1名）以外の大人・小学生の立ち入りを制限したいと思います。
- 8、 **夕涼み会は中止**にします。 **年長組の金勝山遠足は秋**に延期しようと考えています。
- 9、 **夏のプール・年長組合宿**については今後検討していきます。

登園開始を喜びつつ慎重に進めながら、この災厄をみんなで乗り越えていきましょう。